



ほたる舞う学び舎

令和2年度 4月号

学校だより



あきる野市立一の谷小学校 校長 池戸龍一

い 命・人権・平和を大切に
ち 力いっぱいがんばり
の 伸び伸びと
た 楽しく活動
に ニコニコ笑顔の絶えない
「いちのたに」の子

明るく 力強い 大樹に育て

校長 池戸 龍一

この日を待っていたかのように校庭中に桜が舞う中、22名の新入生が入学し、全校児童160名で令和2年度の一の谷小学校がスタートいたしました。お子様の御入学・御進級、誠にありがとうございます。

私は4月1日に、前任の遠藤桂一校長の後任として八王子市立元八王子東小学校より着任いたしました 池戸 龍一（いけど りゅういち）と申します。予想もしなかった新型コロナウイルスの猛威により先行き見えない状況の中でのスタートとなりますが、このような時だからこそ、前任の遠藤校長が教職員、保護者・地域の皆様と共に築いてこられたこの一の谷小学校の伝統を大切にしながら、さらなる向上を目指して、一の谷小学校の子供たちが健やかに成長できるように、保護者・地域の皆様のお力を借りながら、全職員が心一つにして全力で取り組んでまいります。

私は一の谷小学校校長に着任するにあたり、学校経営の3つの柱を立てました。それは、まず第一に「子供たちが行きたい学校」、第二に「保護者・地域の皆様が行かせたい学校」、そして第三に「教職員が働きたい学校」を目指して参ります。

本日、始業式において、全校児童には、校庭に咲き薫る桜を通して、桜がこれほど美しく咲き、そして観る人の心を感動させる理由として、桜は厳しい冬の寒さの中で、春に向けてじっくりと栄養を蓄えてきたこと、またこの一の谷小の伝統と共に、多くの方の愛情あふれる支えがあったことを挙げ、一の谷小の子供たちも厳しい冬を乗り越え美しく咲く校庭の桜のように、困難に負けず、喜びも楽しさも、また悩みや失敗さえも全て自分の成長のための栄養にして、大きく力強い大樹となって、自分自身の花を咲かせよう！という話をしました。

いまだかつてない困難の中でのスタートとなります。どうか、大切な子供たちのため、昨年度までも増して、保護者・地域の皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

いまだかつてない困難の中でのスタートとなります。どうか、大切な子供たちのため、昨年度までも増して、保護者・地域の皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。



地域の思いが込められて咲く一の谷小の桜

